


公式Instagram



AIZENHOSPITAL



広報誌「優」バックナンバー



当院について

		月	火	水	木	金
午前	1診	堀本	岡田(昌)	上杉	松井	井手
	2診	岡田(祐)	山田	宮本	岡本	
	3診		土橋 整形外科	土橋 整形外科		
	歯科	小崎	小崎	小崎	小崎	小崎
午後	1診	井手	堀本	木下	半田	半田
	2診	森谷		森谷	森谷	
	3診	藤田 整形外科			藤田 整形外科	
	歯科	小崎	小崎	小崎/加藤	小崎	小崎



バス じょうてつバス 「川沿12条2丁目」下車

- 地下鉄南北線「真駒内駅」から
硬石山行(南95番)、石山1条6丁目行(南95番)
- JR札幌駅仮設バス乗場
①硬石山行(南55番)
②定山深緑又は豊平峡温泉行(7番)、緑野4条5丁目又は豊平行(7番)



Aizenkai

優

2025 Autumn Vol.22

生命を大切にする心
思いやりを大切にする心
学ぶことを大切にする心

●Instagram開設

撮影者：佐野 純理菜

部署紹介

今回はリハビリテーション部の
取り組みをご紹介します！

患者様の24時間をアシストする

今年度、愛全病院リハビリテーション部では「患者様の24時間をアシストする」を目標として、院内全体で患者様の生活に寄り添った「生活リハビリ」に重点を置いたリハビリを提供しています。

「患者様の24時間の生活を知る」

今年度から導入した、「24時間シート」を入院患者様全員に使用しています。

病前の生活と院内生活を時間ごとに比較し、患者様一人ひとりの生活スタイルを把握した上でリハビリを行うことが目的です。

患者様、ご家族様からこれまでの生活習慣を教えてください。要望をお聞きし一緒に目標を決めることも大切にしています。

時間	病前生活	院内生活
午前4時	↓	↓
午前5時	5:30起床	5:30起床
午前6時	朝食（パン・おかず・味噌汁）	朝食（お粥・味噌汁・フルーツ）
午前7時	（大勢のお世話）	（テレビ・ラジオ）
午前8時	朝食（焼肉・味噌汁）	朝食（病院内食）

▲実際に使用している24時間シートの一部分

「生活習慣に寄り添ったリハビリ」

モーニングリハビリ（朝食前）、ランチリハビリ（昼食前～昼食後）では、リハビリ職員が看護師や介護職員と協力し、その時間・環境でしか行えない動作や習慣をリハビリプログラムとして取り入れ、患者様の早期退院やお一人おひとりの生活の質の向上の支援に重点を置いています。

さらに回復期病棟では、モーニングとランチに加え、夕食後から就寝までのイブニングリハビリを行い、1日を通して生活に寄り添うリハビリを行っています。

患者様の生活習慣を大切にすることで、生活リズムが整い、より豊かに生活していただくことを支援させていただき、それが「生活リハビリであり、患者様の24時間をアシストする」という私たちの想いです。



▲お食事風景



▲服を選ぶ吉田さん



▲お化粧をする渡邊さん

患者様にインタビューしました

4階2病棟 吉田さん

Q：吉田さんにとってお着替えとは？

A：元々おしゃれが好き。

Q：これからどのようにしていきたいですか？

A：息子が来るときには洋服を着てちゃんとしたい。腰が痛いけどこれからも続けられるように頑張りたいです。



フローレンス3階 渡邊さん

Q：渡邊さんにとってお化粧とは？

A：気分転換だね。

Q：いつまで続けたいですか？

A：手が動くまでは続けたい。



主な行事・出来事

【愛全ふれあいまつり】

9月6日、毎年恒例の敬老の日の行事として「愛全ふれあいまつり」を開催致しました。病院正面駐車場に8つの屋台と6つの縁日店が並び、患者様やご家族様に加え地域の方々も多数参加され大変賑わいました。少し暑い日でしたが、患者様もご家族様と屋外に出てお祭りを楽しまれ、多くの笑顔が見られました。

舌鼓を打つ皆さまの視線を浴びるステージ上には、職員のお子さんが「こども病院長」と「こども看護部長」として登壇し、2人のかわいい挨拶に会場全体が癒されました。また、今年は芸術の森小学校のスクールバンド「芸森サウンド」をお招きし、おまつり終盤に息の合った演奏を楽しんでいただきました。アンコール曲のYOUNG MAN (Y.M.C.A.)では、会場全体が大盛り上がりでした。

晴れ渡る空に恵まれ、心温まるひとときを共に過ごすことができ、敬老の日を祝う素敵な時間となりました。



【第29回 愛全会グループ学術研究発表会】

10月11日、かでの2・7にて「第29回愛全会グループ学術研究発表会」が開催されました。年1回、愛全会グループの職員が一堂に会し、研究内容を発表・共有し、相互交流する有意義な場となっております。今年も医療、介護、福祉における日々の研鑽と業務改善、サービス向上、多職種の連携などについて16演題の発表がありました。

特別講演では、しろひげ在宅診療所（東京都）の山中光茂院長に「自宅でお看取りをするということ」と題して在宅診療や自宅での看取りについてご講演いただき、心に寄り添う医療・介護の大切さについて改めて考える時間となりました。また、発表された研究の取り組みの中から、業者との共同開発・製作で「愛全病院オリジナル認知症マフ」が完成するなど、現場での実践へ結びつく取り組みで成果も生まれております。

今後も、職員各自が相互の理解を深め、理念を再確認し、慢性期医療・介護の質の向上、そして地域社会への情報発信にも一層の努力をしていきたいと思ひます。



しろひげ在宅診療所
山中 光茂 院長



発表の様子



表彰式